

事例6

< 事例概要 >

出血

- ① 90 歳代、右大腿骨頸部骨折、慢性腎不全急性増悪の患者。
- ② 血液透析導入のため、血液浄化用カテーテルを留置予定。
- ③ BMI 16.3 kg/m²。抗血栓薬の使用は不明。
- ④ 右内頸静脈より作図法で長針を使用し穿刺。ガイドワイヤーを挿入できず、4 回目は抵抗なく通過し、ダイレーターを挿入した。カテーテルを挿入したが逆血なく抜去。その後経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）80%、意識レベル低下、左側共同偏視、失調性呼吸が出現。MRI で脳幹から小脳に多発性脳梗塞、CT で右胸腔内出血を認めた。穿刺から約10 時間後に死亡。
- ⑤ 死因は、右椎骨動脈損傷による右胸腔内出血および脳幹梗塞。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。